



南翔

令和4年2月7日
文：校長 丹沢伸也

3学期が始まったと思っていたら、あつという間に2月になり、今年度の学校生活も残り2ヶ月を切りました。2月13日まで県より出されている、臨時特別要請、また地域感染レベルの引き上げにより、学校行事の延長、学習活動の制限等に取り組みながら進めているところです。コロナウイルスの感染状況は、まだピークになったとは言えず、特別要請の延長や感染レベルが下がらなければ13日以降の行事や活動も再考しなければならぬかもしれませんが、その際は改めてお知らせいたします。

ストレスマネジメント特別授業 〜一瀬英史先生を招いて〜



1月21日、今年も一瀬英史(ひでし)先生を講師に迎え、ストレスマネジメントの授業を、1、2年で1時間、3年で1時間行いました。

1、2年生の授業では、冒頭「ストレスを感じることは悪いことではなく、それをどう受け止めるかが大切」だと話していただきました。続いて、先入観でイメージが形成されることを、文章の読み取りを通して、実感させてくれました。同じ文章でも、異なった場面が与えられて読むと、解釈が全く異なるものになり、

初めて体験した1年生はきっと驚いたことと思います。続いて、リラクセスする方法として、漸進性筋弛緩法を説明してくれました。これは、意識的に筋肉に力を入れて、その後、弛めることを繰り返すことで、リラクセスしていく方法だそうです。

3年生の授業では、試験前ということもあり「本番で力を発揮するために」という内容で行われました。最初に、目標の立て方について、「『緊張しない』。例『緊張しない』というように立て方ではなく、『こうなると』

「こうなると」というように立て方ではなく、『こうなると』というように立て方ではなく、『こうなると』というように立て方...



いるといい」という様子を思い描き「〜している。例『勉強したことがありありと思いつている』という立て方の方が良い、という話がありました。また、「リラクセスして

リモート授業に備えた取り組み

今後の感染拡大状況で、生徒が学校に来られない場合や、休業しなければならぬ場合があることはお知



た。実際、そうだったことを想定した授業を全学年の数学で行いました。家庭でリモート授業を受けるのに必要な操作を覚えるための授業です。

1年生の授業では、教師は通常通り黒板を背に授業を行いました。生徒は意図的に教師の方を向かず、教室の後ろを向いて、机の上のタブレットに映った教師を見ながら授業を受けました。まず、前回出された宿題をタブレットで撮影しました。これで、教師は離れていても課題の確認ができます。続いて本時の学習ですが、内容は「東京オリンピックピック、パラピックのロゴの不完全な部分を完成させよう」という学習です。



集中した状態が一番力が発揮できる」という話をしてくれました。ストレスマネジメントに精通している先生の話で、私たちがとっても大変勉強になる内容でした。

（ロゴは図のうちに、ひし形の中に書かれた3種類の長方形を組み合わせてデザインされたもので、生徒はこの長方形の作図を行いました。）



課題を始める前に、ロゴの作成にまつわる作成者の動画をデジタル教科書を用いて再生し、それを生徒それぞれが、タブレットで見られるようにしました。続いて、作図のやり方について、デジタル教科書を使って生徒のタブレットに写しながら説明を行い、実際に作図を始めました。

この間、教師側から個々の作業の様子も確認することができ、最後に、作図したペー

ジを撮影して文書に貼り付け、学習の振り返りをタブレット上で記録し、授業は終了となりました。生徒はタブレットの操作に慣れていくように、授業で必要な操作もすぐ覚える



ことができました。教師も操作能力に長けているので、様々な活用がオンラインでもできることが確認できました。一方、机間巡視等はできないため、個々の支援には課題があり、オンラインの弱点であることも感じました。

オンラインでの研究授業実施

1月31日に1学年の理科の研究授業が行われました。講師の先生を招いて行う予定でしたが、コロナ禍のため、来校はせず、研究授業、研究会とも、オンラインで参加してもらおうという、本校でも初の試みでした。



授業は、火山のでき方が、マグマの性質の違いにより異なることを、マグマをホットケーキミックスの生地に見立て、粉と水の割合を変えて実験して確かめる内容でした。3方向から授業、教師、生徒の様子を撮影し、遠隔から見ても見えました。その後の研究会も、オンラインで結んで話し合いを行いました。授業でのタブレットやオンラインの活用はすでに取組んでいます。



このような授業を進めましたが、教科によっては、先生と黒板を映し出して授業を進める授業もあると思います。一時的ではあります。もしもの時、このような形で生徒が家で授業を行うことをご承知おきください。

今後、会議の行い方等の場面でも活用、工夫できることを確認できる機会となりました。



生徒個人情報の取り扱いについて

町内の学校で、児童の情報が漏洩するということ、大変残念な事案が発生しました。保護者の皆様においては、本校での情報管理について、不安に思われる方もいらっしゃると思います。

事案を受け、本校でも対策を講じ、生徒及び保護者の個人情報が入った名簿は、紙で保管することは行わず、データもパスワードなしで閲覧、印刷ができないよう、取り扱いを変更しました。併せて、不祥事をなくすために、心がけるべき内容も確認しました。保護者の皆様の信頼を裏切ることのないよう、職員一同取り組む所存でございます。ご理解をお願いいたします。

町内の学校で、児童の情報が漏洩するということ、大変残念な事案が発生しました。保護者の皆様においては、本校での情報管理について、不安に思われる方もいらっしゃると思います。

事案を受け、本校でも対策を講じ、生徒及び保護者の個人情報が入った名簿は、紙で保管することは行わず、データもパスワードなしで閲覧、印刷ができないよう、取り扱いを変更しました。併せて、不祥事をなくすために、心がけるべき内容も確認しました。保護者の皆様の信頼を裏切ることのないよう、職員一同取り組む所存でございます。ご理解をお願いいたします。